

氏名

姓	カイト	名	ヤスミ
海寶		康臣	

所属	共通基盤教育部門		
職名	講師		
最終学歴	立命館大学大学院博士後期課程文学研究科英米文学専攻単位取得満期退学	学位	修士（文学）

専 門 分 野	英語学					
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別	
	英語Ⅰ	2 単位	30.0 時間	時間	歯学科	
	英語Ⅱ	2 単位	30.0 時間	時間	歯学科	
	英語	2 単位	30.0 時間	時間	口腔保健学科	
	英語論文講読入門	2 単位	30.0 時間	時間	歯学科	
	研究室配属		2 単位	60.0 時間	時間	歯学科
	基礎教育セミナー		2	30.0 時間	時間	歯学科
	学術基礎英語	2 単位	30.0 時間	時間	大学院	
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）						
研 究 分 野	英語学、語用論					
研究課題	課題名	一般化された会話の推意と有標構文 歯科医学を学ぶ学生に求められる英語力育成のための効果的な指導方法の開発				
	キーワード（5つまで）	語用論、一般化された会話の推意、有標構文、歯科医学、英語教育				
	共同研究等の実績					
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主 要 5 編)	海寶康臣. GCIに基づく「そして」の談話内での機能の考察と文頭のAndとの対照. JELS (日本英語学会発行) 34: 63-69, 2017.					
	海寶康臣. 主語名詞句が転位化されている日英語の左方転位構文と右方転位構文の談話内での機能. 立命館言語文化研究 (立命館大学国際言語文化研究所発行) 第25巻3号: 41-56, 2014.					
	海寶康臣. 英語の右方転位構文・日本語の後置文と話し手の論理・聞き手の論理. JELS (日本英語学会発行) 27: 71-80, 2010.					
	海寶康臣. 時を表す表現+知覚動詞+知覚の対象という形式を有する構文について一機能論的な観点からの考察一. JELS (日本英語学会発行) 25: 101-110, 2008.					
	海寶康臣. パラグラフという単位をめぐって. 六甲英語学研究 (六甲英語学研究会発行) 第10号: 59-75, 2007.					
産学官連携実績 (主 要 3 件)	----- -----					
産学官連携 可能・希望分野						
取得した実用新案特許等 (主 要 5 件)						
所 属 学 会 (主 要 5 件)	日本英語学会、日本語用論学会、英語語法文法学会、九州歯科学会、立命館大学英米文学会					